



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 中央自動車工業株式会社
 コード番号 8117 URL <https://www.central-auto.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 信一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部副本部長 (氏名) 住吉 哲也

TEL 06-6443-5192

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	17,412	14.8	3,645	22.6	3,936	19.6	3,459	49.4
2019年3月期第3四半期	15,166	6.3	2,972	23.2	3,292	18.0	2,315	17.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,583百万円 (85.1%) 2019年3月期第3四半期 1,936百万円 (10.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	191.41	
2019年3月期第3四半期	128.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	33,345	27,983	83.8	1,527.58
2019年3月期	30,050	24,888	82.8	1,379.39

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 27,954百万円 2019年3月期 24,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		22.00		28.00	50.00
2020年3月期		28.00			
2020年3月期(予想)				28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,300	11.6	5,350	23.3	5,700	19.8	4,600	35.6	254.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	20,020,000 株	2019年3月期	20,020,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,720,388 株	2019年3月期	1,976,672 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	18,075,972 株	2019年3月期3Q	18,032,151 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

「2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)」より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦、中東情勢など世界経済への下押しリスクが懸念されるなか、景気は引き続き総じて緩やかな拡大基調を維持いたしました。

国内新車総販売台数(軽を含む)の4～12月の実績は、10月以降の消費税率の引き上げによる急激な需要の低迷や台風などの自然災害の影響から、前年同期比98%の約367万台となりました。内訳は、登録車が同98%の約232万台、軽自動車と同99%の約135万台と、共に前年割れの実績となりました。

このような環境下、当社では、地域密着型営業の強化を通じて付加価値の高いオリジナル商材の拡販と新規開拓を図るとともに、増強した中之島R&Dセンターを活用し、これまで以上に開発・改善・改良のスピードと精度を向上させ、開発型企業としての体制を強化いたしました。

また、2019年12月に損害保険会社の全損認定車両処分に関わる業務を主とする三菱商事株式会社100%子会社の株式会社A B Tを買収し、当社の完全子会社といたしました。今後、同社のネットワークを活かした新しい分野での新しい商品・サービスの開発を通じて、新規顧客の獲得や既存顧客との取引深耕を図り、企業価値の向上に努めてまいります。

これにより、当社グループの第3四半期連結累計期間の売上高は174億12百万円(前年同期比115%)、営業利益は36億45百万円(同123%)、経常利益は39億36百万円(同120%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億59百万円(同149%)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。なお、当第3四半期連結会計期間より株式会社A B Tが連結子会社となったことに伴い、報告セグメントに「自動車処分事業」を追加しておりますが、当第3四半期連結累計期間においては、貸借対照表のみを連結しており、四半期連結損益計算書には含めていないため、「自動車処分事業」についての記載を省略しております。

(自動車部品・用品等販売事業)

当社グループの報告セグメントは、前事業年度において「自動車関連事業」の単一セグメントであり、当第3四半期連結累計期間において「自動車部品・用品等販売事業」は、従来の「自動車関連事業」の業績のみによって構成されるため、以下では前第3四半期連結累計期間との比較を行っております。

当セグメントにおきましては、国内部門では、10月以降の消費税率の引き上げによる需要の低迷がみられるなか、大きく変わる市場環境に対応すべく、地域密着型営業および付加価値の高いオリジナル商材の提案を強化し、新規取引先の開拓とシェア拡大に取り組みました。海外部門では、海外拠点と連携し、地域情勢に留意しながら、新規先の開拓と既存重点先の深耕につとめました。

これにより、売上高は174億12百万円(前年同期比115%)、セグメント利益につきましては36億45百万円(同123%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態を分析しますと、

① 総資産合計は333億45百万円と前連結会計年度末に比べて32億95百万円増加しております。

増加の主なものは、のれんが53億42百万円、投資有価証券が6億54百万円であります。

減少の主なものは、現金及び預金が27億11百万円であります。

② 負債合計は53億62百万円と前連結会計年度末に比べて2億円増加しております。

増加の主なものは、支払手形及び買掛金が5億67百万円であります。

減少の主なものは、賞与引当金が1億54百万円、流動負債その他のうち未払費用が92百万円、未払法人税等が82百万円であります。

③ 純資産合計は279億83百万円と前連結会計年度末に比べて30億94百万円増加しております。

増加の主なものは、親会社株主に帰属する四半期純利益が34億59百万円であります。

減少の主なものは、配当金の支払いにより利益剰余金が10億16百万円であります。

なお、自己資本比率は、82.8%から83.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想(2019年11月12日公表)につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移しておりますので、現時点における業績予想値の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,173	8,461
受取手形及び売掛金	3,084	2,571
商品及び製品	800	1,090
仕掛品	6	8
原材料及び貯蔵品	15	13
その他	133	521
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	15,209	12,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	818	904
土地	2,088	2,088
その他(純額)	71	113
有形固定資産合計	2,978	3,106
無形固定資産		
のれん	-	5,342
その他	293	240
無形固定資産合計	293	5,582
投資その他の資産		
投資有価証券	9,629	10,283
長期貸付金	659	735
繰延税金資産	390	237
その他	891	737
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	11,569	11,993
固定資産合計	14,841	20,682
資産合計	30,050	33,345
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,720	2,288
未払法人税等	885	803
賞与引当金	340	185
その他	987	858
流動負債合計	3,934	4,135
固定負債		
退職給付に係る負債	1,132	1,091
その他	95	134
固定負債合計	1,227	1,226
負債合計	5,161	5,362

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,001	1,001
資本剰余金	4,251	4,689
利益剰余金	19,812	22,256
自己株式	△709	△620
株主資本合計	24,355	27,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	583	660
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	15	14
退職給付に係る調整累計額	△65	△46
その他の包括利益累計額合計	532	627
非支配株主持分	-	29
純資産合計	24,888	27,983
負債純資産合計	30,050	33,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	15,166	17,412
売上原価	8,758	9,895
売上総利益	6,407	7,517
販売費及び一般管理費	3,434	3,871
営業利益	2,972	3,645
営業外収益		
受取利息	6	9
受取配当金	56	141
受取賃貸料	40	40
持分法による投資利益	201	162
為替差益	8	3
その他	34	24
営業外収益合計	346	381
営業外費用		
売上債権売却損	-	18
支払手数料	5	49
賃貸収入原価	14	12
その他	6	9
営業外費用合計	26	90
経常利益	3,292	3,936
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,064
特別利益合計	-	1,064
税金等調整前四半期純利益	3,292	5,000
法人税、住民税及び事業税	822	1,366
法人税等調整額	154	144
法人税等合計	976	1,511
四半期純利益	2,315	3,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,315	3,459

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	2,315	3,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△376	36
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	-	△0
退職給付に係る調整額	17	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	41
その他の包括利益合計	△379	94
四半期包括利益	1,936	3,583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,936	3,554
非支配株主に係る四半期包括利益	-	29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

2019年11月28日付で株式会社A B Tの株式を取得したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

なお、2019年12月31日をみなし取得日としたため、当第3四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社A B T

事業の内容 損害保険会社の全損認定車両処分に関わる業務

② 企業結合を行った主な理由

本株式取得及び本株式交換により、株式会社A B Tのネットワークを活かした新しい商品・サービスの開発を通じて、これまで以上にメーカー機能を持つ「商社」としての強みを発揮し、新規顧客の獲得や既存顧客との取引深耕などの相乗効果が期待できるものと考えております。

③ 企業結合日

株式取得日 2019年11月28日

株式交換日 2019年12月20日

④ 企業結合の法的形式

現金及び自己株式を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得した議決権比率

現金対価により取得した議決権比率 91%

株式交換により取得した議決権比率 9%

取得後の議決権比率 100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金および自己株式を対価として株式を取得し、完全子会社化したためであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日を2019年12月31日としており、貸借対照表のみを連結しているため、被取得企業の業績は当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれておりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	5,005百万円
	自己株式	495百万円
取得原価		5,500百万円

(4) 株式の種類別の交換比率及びその算定方法並びに交付した株式数

① 株式の種類別の交換比率

株式会社A B Tの普通株式1株に対して、当社の普通株式13,266株を割当交付いたしました。

② 株式交換比率の算定方法

当社および株式会社A B Tから独立した第三者機関に株式交換比率の算定を依頼し、提出された報告書に基づき、当事者間で協議の上、算定しております。

③ 交付した株式数

238,788株

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額

5,342百万円

なお、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

② 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力によるものであります。

③ 償却方法及び償却期間

効果の発現する期間にわたって均等償却とします。なお、償却期間については、取得原価の配分の結果を踏まえて決定する予定であります。